

## L型擁壁工 丁張

### ■測量工事 直接費 歩掛 (10m当り)

名称	数量	単位	単価	金額
測量工(技師)		人		
測量工(技師補)		人		
木杭		本		
胴縁 L=2m		枚		
雑材		式		

### ■作業手順

#### ①掘削(切り出し)丁張りの設置

高さが2mを超える擁壁の掘削には作業足場等を考慮して作業床巾が確保できるように丁張りを設置する。

#### ②床付～均しCon丁張りの設置

##### 1)準備

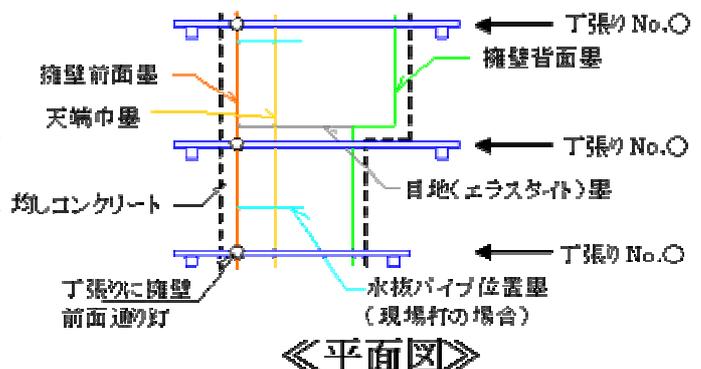
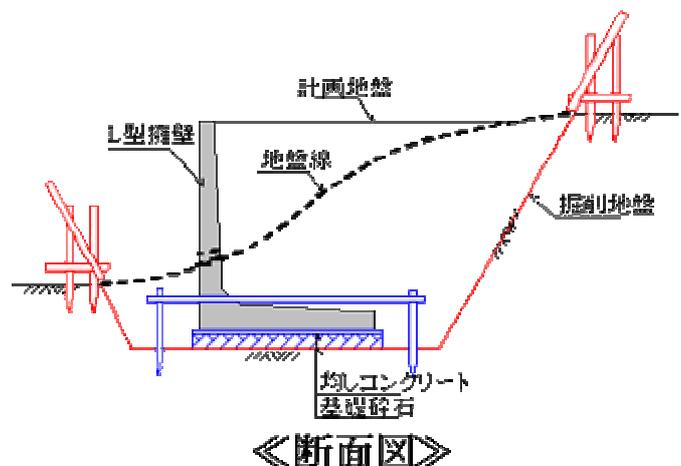
設計図面の確認(平面図・横断面図・縦断面図・展開図・構造図etc)

##### 2)測量

基準点もしくは道路中心杭から擁壁前面ポイントを設置する。

##### 3)丁張り加工

施工巾を考慮した地点に木杭を2本打ち、均しCon仕上げ天端高から30cm程上げた高さに貫を水平に設置する。(貫は下端で設置)尚、貫には擁壁前面の通り釘を打ち、床付・碎石天端・均しコンクリート仕上げりまでの高さ、均しCon及び碎石巾を記入しておく。



#### ③擁壁躯体墨出し

##### 1)測量

均しコンクリート打設後、基準点もしくは道路中心杭から擁壁前面ポイントを設置する。

##### 2)墨出し

L型擁壁がコンクリート二次製品の場合は均しCon時の丁張りの通り・高さを再度確認する。  
躯体が現場打の場合は、均しコンクリート上に右平面図のように各種墨出しを行う。